

中学校・数学 「たしかめシート」・「トライシート」について

中学校の先生方の声を生かして、基礎的な内容の学び直しができる学習プリントが完成しました！



【内容】

- 「たしかめシート」「トライシート」内容一覧表
 - 「たしかめシート」全15枚（各学年5枚ずつ）
 - 「たしかめシート」解答全15枚（各学年5枚ずつ）
 - 「トライシート」全68枚（1年25枚、2年21枚、3年22枚）
 - ・「トライシート」の解答は、シート内に示しています。
- ※ 全てPDF版で配信しています。Word版は図形等にずれが生じる可能性が高いため、配信していません。御了承ください。

【構成】

- 「たしかめシート」
 - ・1枚ごと、大問3～6問で構成
 - ・全ての学習内容から、基礎的な内容を網羅
 - ・各学年の第1回のシートを中心として、前学年までの学習内容を掲載
 - ・1枚の所要時間は10分間を想定
 - 「トライシート」
 - ・1枚ごと、「復習」「練習」「解答」で構成
 - ・スモールステップでポイントを確認しながら取り組むことができるよう、適宜、解き方の手順やヒントを明示
 - ・「たしかめシート」を補充するものとして、大問1問につき1枚ずつを用意
 - ・1枚の所要時間は5分間から10分間を想定
- ※ 「たしかめシート」「トライシート」共に、短時間でできること、自ら学習に取り組む姿勢を大切にすること、一人一人の定着状況に応じた活用ができることに配慮して構成しています。

【活用例】

《その1》 ①「たしかめシート」

↓ ・全員が「たしかめシート」で、各内容の定着度を確認する。

②「トライシート」

・「たしかめシート」の結果を基に、自分の課題に合った「トライシート」で復習する。

《その2》 ①「トライシート」

↓ ・「トライシート」で、各内容を復習する。

②「たしかめシート」

・全員が「たしかめシート」で、各内容をより一層定着させる。

※ 授業や補充学習の時間、家庭学習等において、生徒の学習意欲の向上や学習内容の定着につながるよう、学校や生徒の実態に応じて効果的に御活用ください。今後さらに、先生方の御意見や御感想を基に、内容の改善を図っていきたいと考えています。

数学「たしかめシート」・「トライシート」を見てみましょう！

第3学年の内容で学年の1枚目を意味

数学 たしかめシート 3-①

名前

1 次の計算をしましょう。

(1) $12ab \div (-3b)$

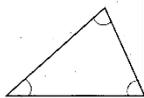
(2) $\frac{5}{2}x + \frac{1}{3}y - \frac{1}{5}x + \frac{1}{6}y$

2 次の連立方程式を解きましょう。

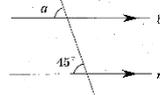
$$\begin{cases} -x + y = 3 \\ 2x + 3y = 4 \end{cases}$$

3 次の に当てはまる数や言葉を書きましょう。

(1) 三角形の内角の和は ° である。



(2) 下の図で、直線 l と直線 m とは平行である。このとき、平行線の角は等しいので、 $\angle a =$ ° になる。



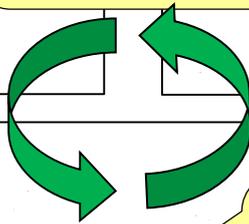
4 2つのさいころを同時に投げるときに出る目の数を表にしました。この表を参考にしながら、2つのさいころの出る目の数の和が6になる確率を求めましょう。

	(1,1)	(1,2)	(1,3)	(1,4)	(1,5)	(1,6)
	(2,1)	(2,2)	(2,3)	(2,4)	(2,5)	(2,6)
	(3,1)	(3,2)	(3,3)	(3,4)	(3,5)	(3,6)
	(4,1)	(4,2)	(4,3)	(4,4)	(4,5)	(4,6)
	(5,1)	(5,2)	(5,3)	(5,4)	(5,5)	(5,6)
	(6,1)	(6,2)	(6,3)	(6,4)	(6,5)	(6,6)

「たしかめシート」は各学年5枚ずつ
(各学年の1枚目は前学年までの復習)

問題数は各回大問が3~6問

「たしかめシート」と
「トライシート」の
どちらからでも
取り組み可能



数学 トライシート 3-①-4

名前

確率

【復習】

確率の求め方

起こる場合が全部で n 通りあり、そのどれが起こること
しいとします。そのうち、ことがら A の起こる場合が a 通りであるとき、
ことがら A の起こる確率は、 $p = \frac{a}{n}$ です。

【練習】 次の に当てはまる数や言葉を書きましょう。

2つのさいころを同時に投げるとき出る目の出かたは、次のように36通りである。

	(1,1)	(1,2)	(1,3)	(1,4)	(1,5)	(1,6)
	(2,1)	(2,2)	(2,3)	(2,4)	(2,5)	(2,6)
	(3,1)	(3,2)	(3,3)	(3,4)	(3,5)	(3,6)
	(4,1)	(4,2)	(4,3)	(4,4)	(4,5)	(4,6)
	(5,1)	(5,2)	(5,3)	(5,4)	(5,5)	(5,6)
	(6,1)	(6,2)	(6,3)	(6,4)	(6,5)	(6,6)

この36通りは同様に といえる。

和が6になる場合を○で囲むと、 通りあることがわかる。
したがって、

和が6になる確率は

答え 【練習】 アからしい

イ5 (○で囲むのは、(5, 1), (4, 2), (3, 3), (2, 4), (1, 5)) ウ5 エ36

「トライシート」は
「たしかめシート」の大問1問に1枚ずつ
(たしかめシート3-①の大問4)に対応
の意味)

まずは【復習】で
学習内容の確認

【復習】を読んだら
【練習】にトライ

【練習】は解答付き
なので自主学習で
もトライ

解き方の手順を確認

短時間で！
繰り返し！
着実に力を付ける
ことができます！

